

7 心肺蘇生法及び AED（自動体外式除細動器）について

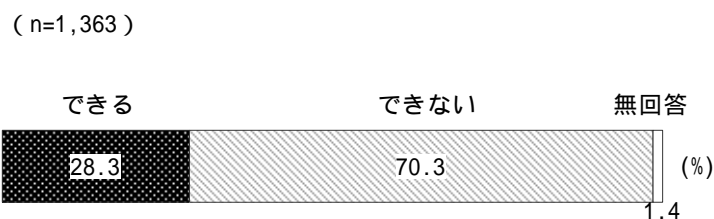
（1）胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができるか

「できる」は約 3 割

問 27 あなたは、見知らぬ人が目の前で突然倒れ、その人の意識がなかった場合、その人に胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸を出来ると思いますか。（ ）（ は 1 つ）

（ ）一般的な救急蘇生法では、倒れている人の意識や呼吸がない場合、胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸（人工呼吸はできる場合のみ）を実施することとなっています。

< 図表 7 - 1 > 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができるか



心肺蘇生法の実施可否を聞いたところ、「できる」(28.3%) は約 3 割となっており、「できない」(70.3%) は 7 割であった。(図表 7 - 1)

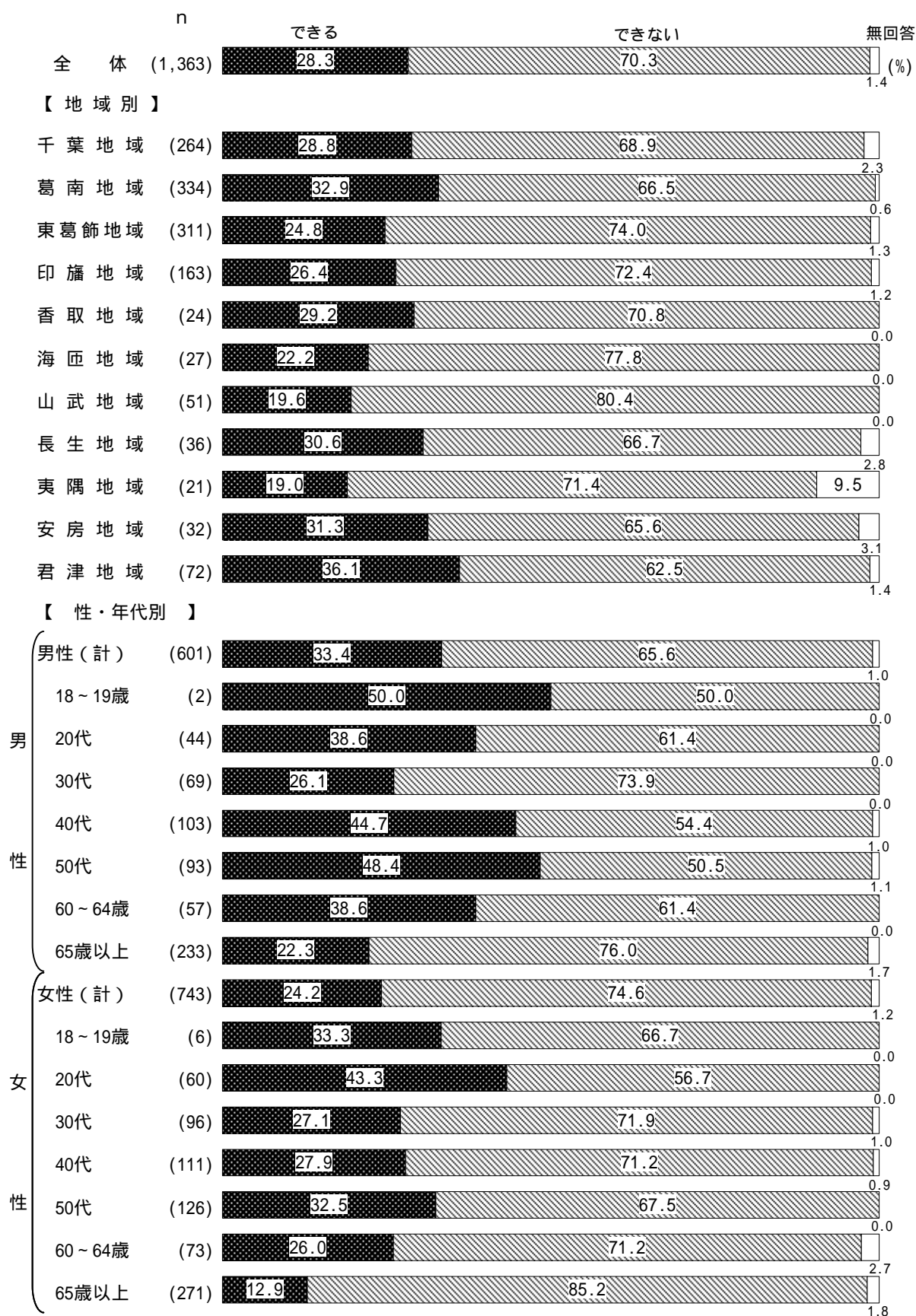
【地域別】

地域別にみると、「できる」は“山武地域”(19.6%)、“夷隅地域”(19.0%) で共に約 2 割と低くなっている。(図表 7 - 2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「できる」は、男性の 40 代(44.7%) で 4 割台半ば、男性の 50 代(48.4%) で約 5 割、女性の 20 代(43.3%) で 4 割台半ばと高くなっている。(図表 7 - 2)

< 図表 7 - 2 > 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができるか / 地域別、性・年代別



（ 2 ） 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由

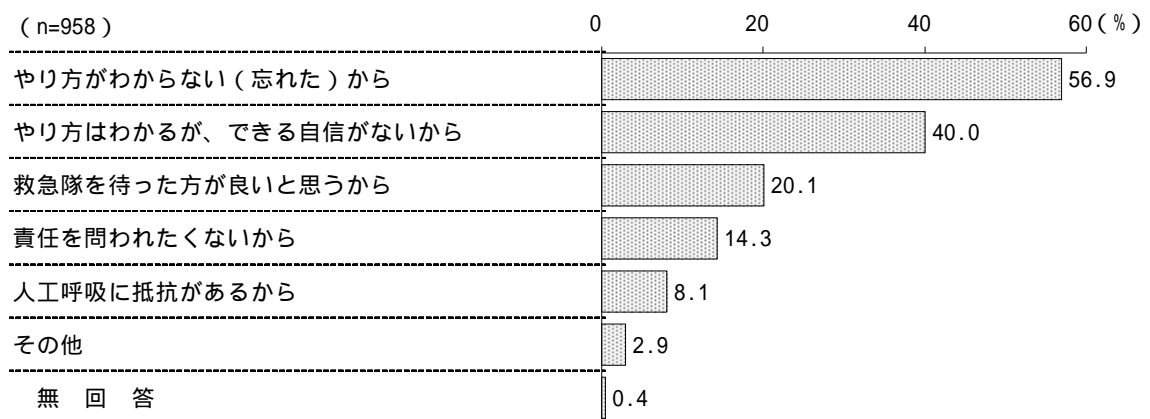
「やり方がわからない（忘れた）から」が 5 割台半ばと最も高い

（問27で「できない」とお答えの方に）

問28 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由は何ですか。

（ はいくつでも ）

<図表 7 - 3> 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由（複数回答）



心肺蘇生法が「できない」と回答した958人に、その理由を聞いたところ、「やり方がわからない（忘れた）から」(56.9%)が5割台半ばと最も高く、以下、「やり方はわかるが、できる自信がないから」(40.0%)、「救急隊を待った方が良くと思うから」(20.1%)と続く。(図表 7 - 3)

【地域別】

地域別にみると、「やり方がわからない（忘れた）から」は、“山武地域”(75.6%)で7割台半ば、“海匝地域”(71.4%)で7割を超えて高くなっている。

「やり方はわかるが、できる自信がないから」は“夷隅地域”(66.7%)で6割台半ばと高くなっている。

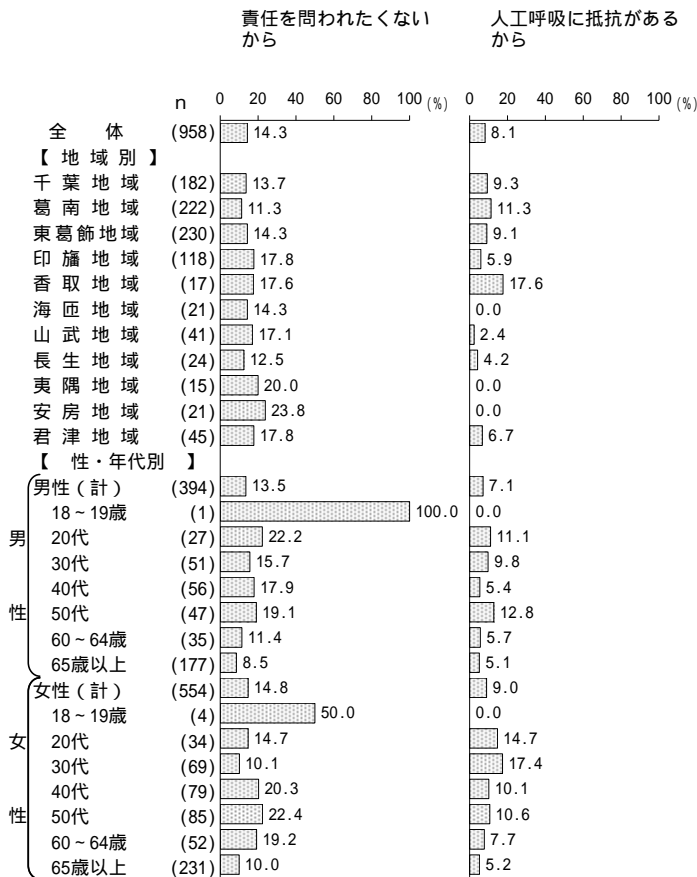
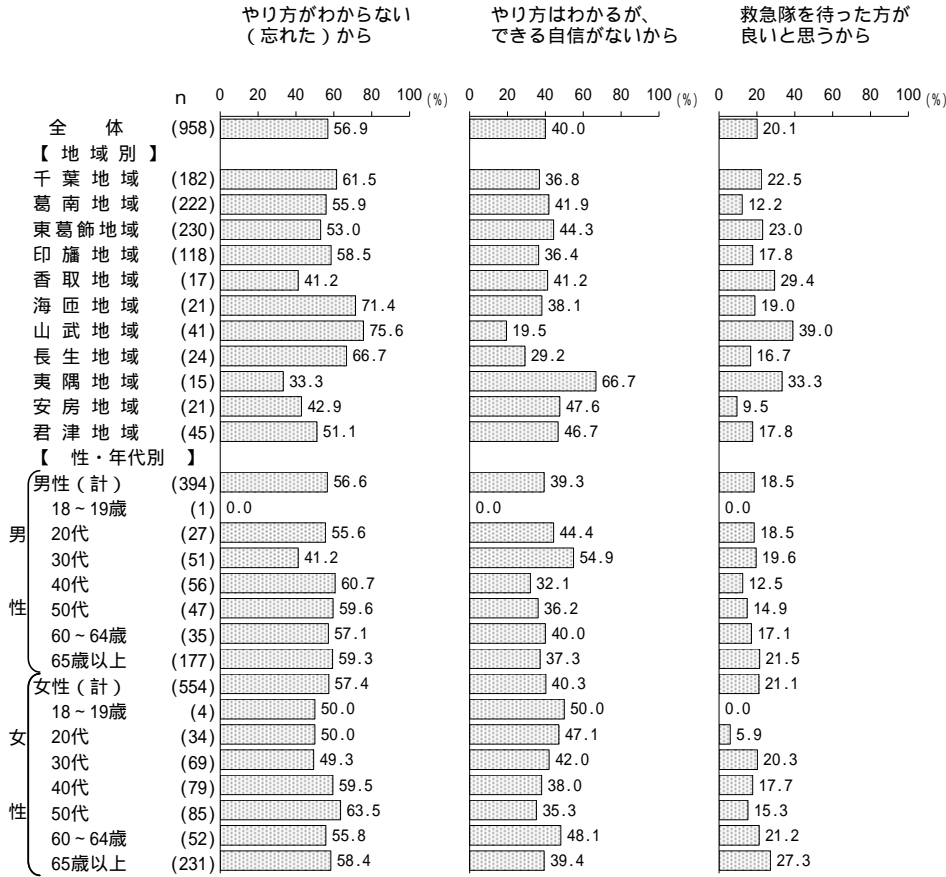
「救急隊を待った方が良くと思うから」は“山武地域”(39.0%)で約4割と高くなっている。
(図表 7 - 4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「やり方はわかるが、できる自信がないから」は、男性の30代(54.9%)で5割台半ばと高くなっている。

「救急隊を待った方が良くと思うから」は、女性の65歳以上(27.3%)で約3割と高くなっている。
(図表 7 - 4)

< 図表 7 - 4 > 胸骨圧迫（心臓マッサージ）や人工呼吸ができないと思う理由（複数回答）
/ 地域別、性・年代別



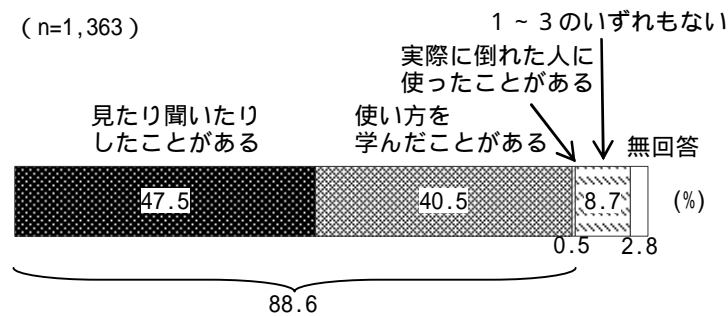
（ 3 ） AED（自動体外式除細動器）の認知・使用経験

『見たり聞いたりしたことがある』は約 9 割、うち「使い方を学んだことがある」は 4 割

問29 AED（自動体外式除細動器）()という機器について見聞きしたり、使ったことがありますか。 (は1つ)

() 意識や呼吸がない人が心停止になっているかを判断する機能を持ち、心停止と判断した場合に電気ショックを与えて心臓を動かす機器

< 図表 7 - 5 > AED（自動体外式除細動器）の認知・使用経験



AED（自動体外式除細動器）について、見聞きしたり、使ったことがあるかを聞いたところ、「使い方を学んだことがある」（40.5%）は 4 割となっており、「見たり聞いたりしたことがある」（47.5%）、「実際に倒れた人に使ったことがある」（0.5%）を合わせた『見たり聞いたりしたことがある計』（88.6%）は約 9 割となっている。（図表 7 - 5）

【地域別】

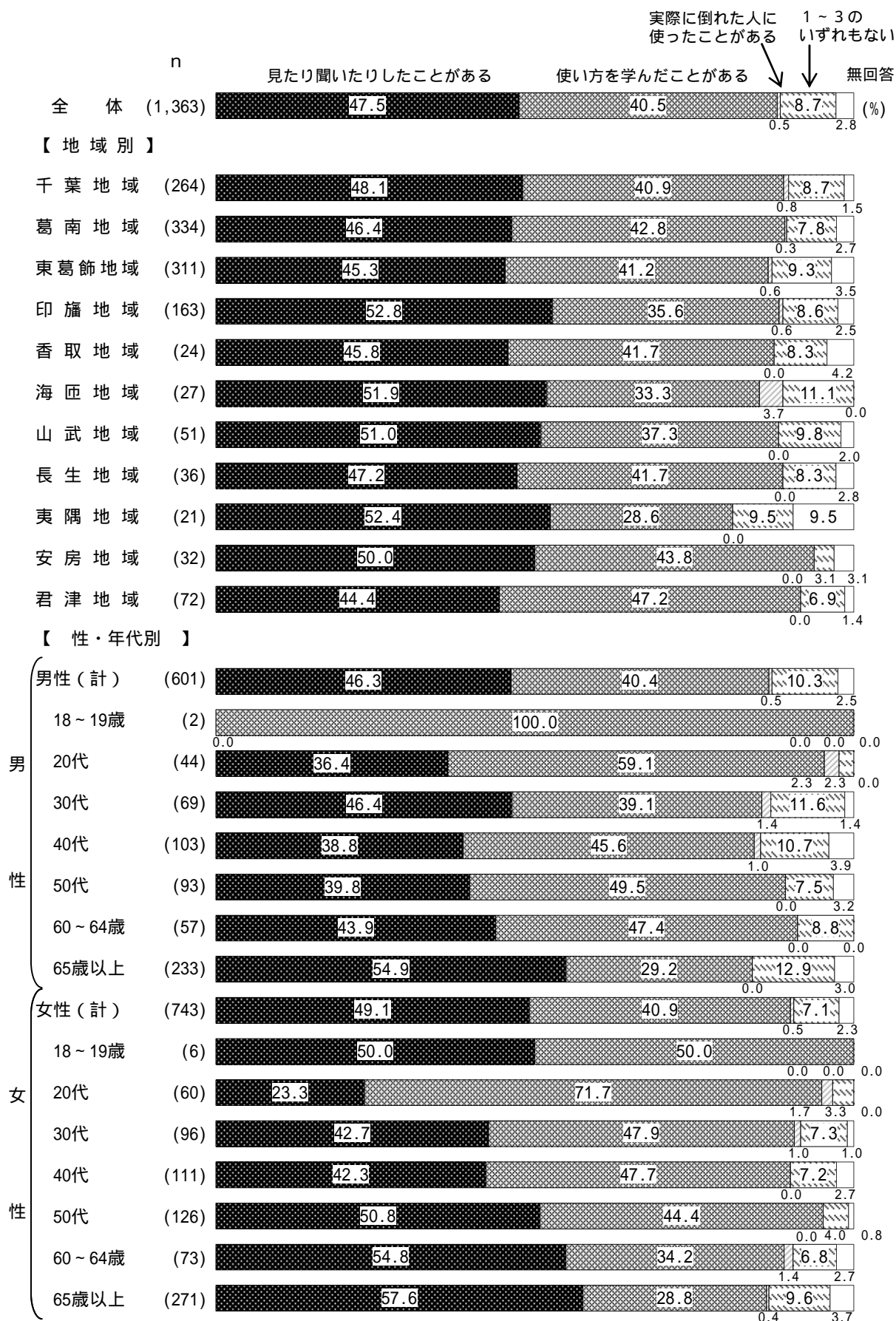
地域別にみると、『見たり聞いたりしたことがある計』は、“安房地域”（93.8%）、“君津地域”（91.6%）で共に 9 割を超えて高くなっている。（図表 7 - 6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『見たり聞いたりしたことがある計』は、男性の 20 代（97.7%）で約 10 割、女性の 20 代（96.7%）、女性の 50 代（95.2%）で 9 割台半ばと高くなっている。

「使い方を学んだことがある」は、男性の 20 代（59.1%）で約 6 割、女性の 20 代（71.7%）で 7 割を超えて高くなっている。（図表 7 - 6）

< 図表 7 - 6 > AED（自動体外式除細動器）の認知・使用経験 / 地域別、性・年代別



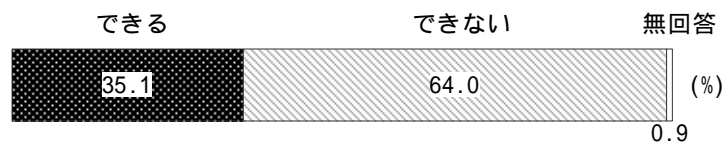
（４）AED（自動体外式除細動器）を使用できるか

「できる」は 3 割台半ば

問30 もし、見知らぬ人が目の前で突然倒れた場合、その場に AED があれば、あなたはその人に AED を使用することができますか。（ は 1 つ）

<図表 7 - 7 > AED（自動体外式除細動器）を使用できるか

(n=1,363)



緊急時に AED を使用することができるかを聞いたところ、「できる」(35.1%) は 3 割台半ば、「できない」(64.0%) は 6 割台半ばとなっている。(図表 7 - 7)

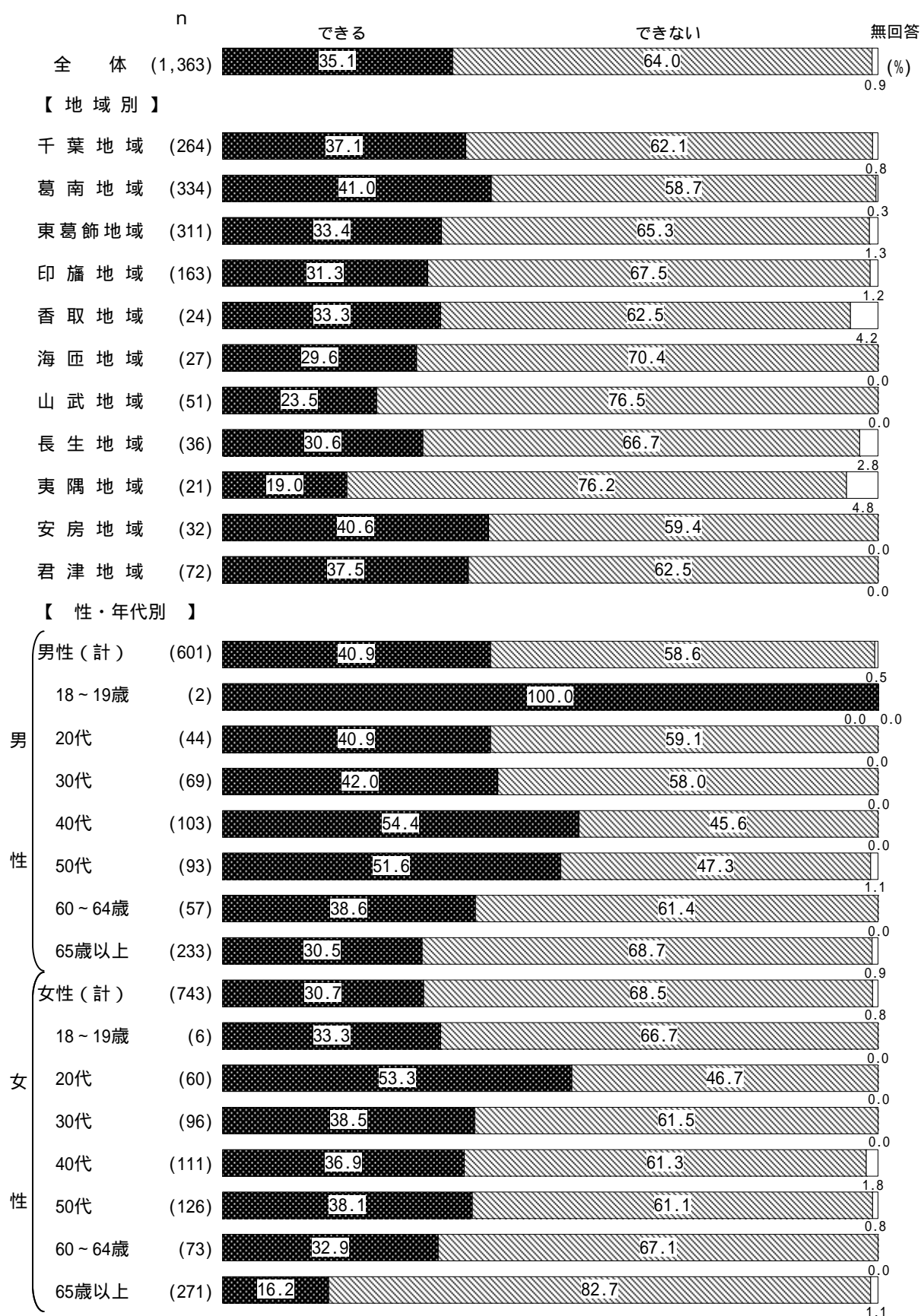
【地域別】

地域別にみると、「できる」は、「葛南地域」(41.0%) で 4 割を超え、「安房地域」(40.6%) で 4 割と高くなっている。(図表 7 - 8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「できる」は、男性の 40 代 (54.4%) で 5 割台半ば、男性の 50 代 (51.6%) で 5 割を超え、女性の 20 代 (53.3%) で 5 割台半ばと高くなっている。(図表 7 - 8)

< 図表 7 - 8 > AED（自動体外式除細動器）を使用できるか / 地域別、性・年代別



（ 5 ） AED（自動体外式除細動器）を使用できないと思う理由

「使用方法がわからない（忘れた）から」が6割を超えており最も高い

（問30で「できない」とお答えの方に）

問31 AEDを使用できないと思う理由は何ですか。（はいくつでも）

<図表 7 - 9 > AED（自動体外式除細動器）を使用できないと思う理由（複数回答）



緊急時にAEDを使用することができないと回答した872人に、使用できない理由を聞いたところ、「使用方法がわからない（忘れた）から」（62.3%）が6割を超えており最も高い。以下、「AEDを使用すべき状態かどうかわからないから」（48.5%）、「救急隊を待った方が良いと思うから」（21.2%）が続く。（図表 7 - 9）

【地域別】

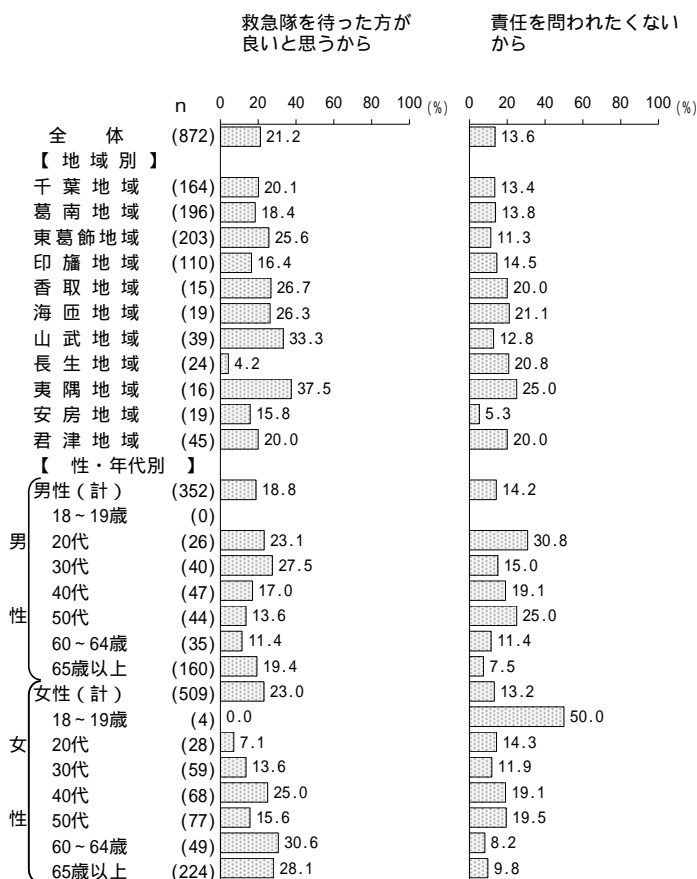
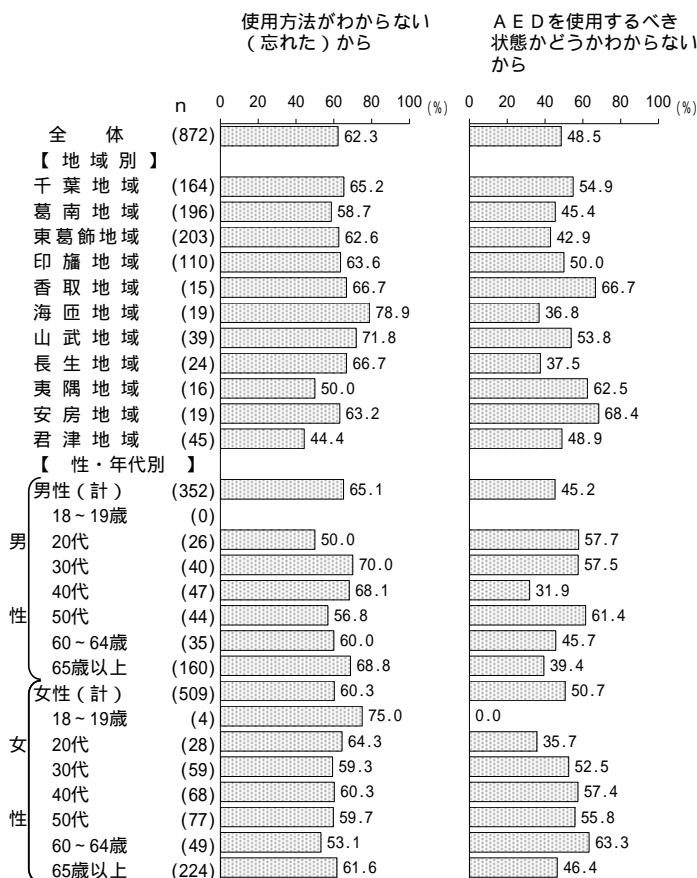
地域別にみると、「使用方法がわからない（忘れた）から」は、“海匠地域”（78.9%）で約8割、“山武地域”（71.8%）で7割を超えて高くなっている。（図表 7 - 10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「AEDを使用すべき状態かどうかわからないから」は、女性の60～64歳（63.3%）で6割台半ばと高くなっている。（図表 7 - 10）

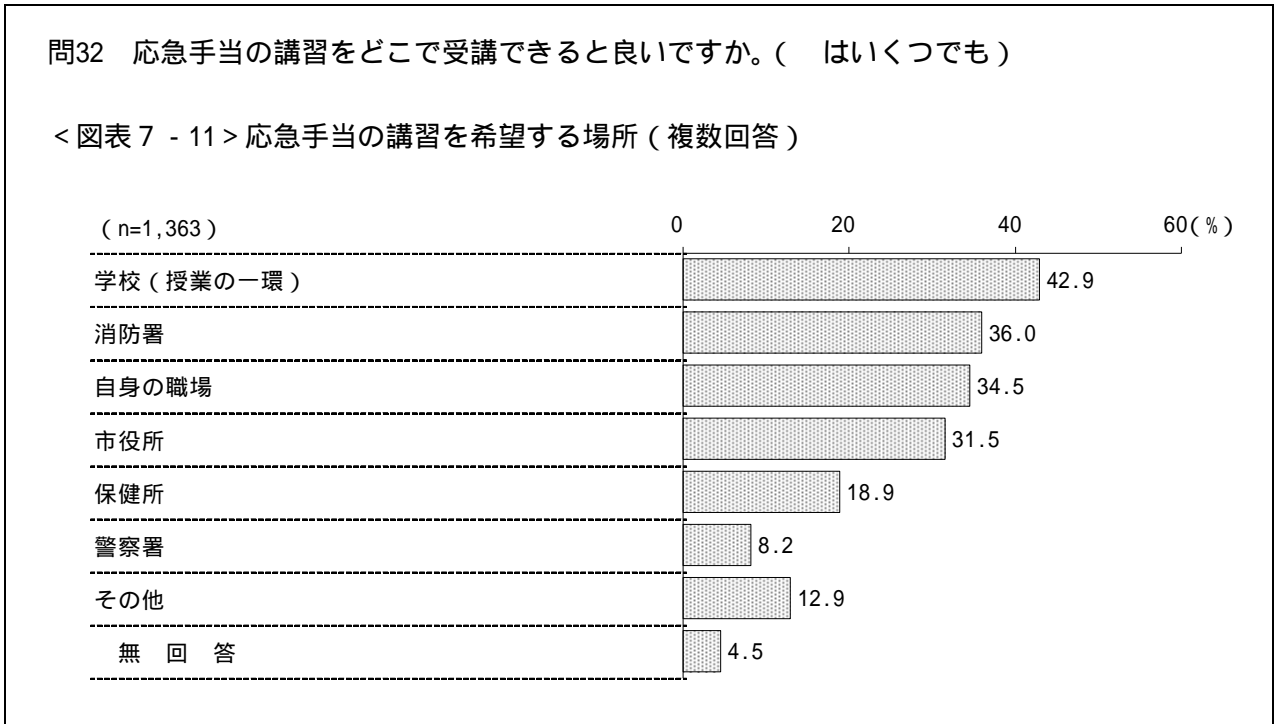
< 図表 7 - 10 > AED (自動体外式除細動器) を使用できないと思う理由 (複数回答)

/ 地域別、性・年代別



（ 6 ） 応急手当の講習を希望する場所

「学校（授業の一環）」が 4 割を超えており最も高い



応急手当の講習をどこで受講できると良いかを聞いたところ、「学校（授業の一環）」（42.9%）が 4 割を超えており最も高くなっている。以下、「消防署」（36.0%）、「自身の職場」（34.5%）、「市役所」（31.5%）と続く。（図表 7 - 11）

【地域別】

地域別にみると、「学校（授業の一環）」は、“長生地域”（58.3%）で約 6 割、“葛南地域”（47.6%）、「夷隅地域”（47.6%）で共に約 5 割と高くなっている。

「消防署」は、“君津地域”（54.2%）で 5 割台半ばと高くなっている。

「市役所」は、“長生地域”（47.2%）で約 5 割と高くなっている。（図表 7 - 12）

【性・年代別】

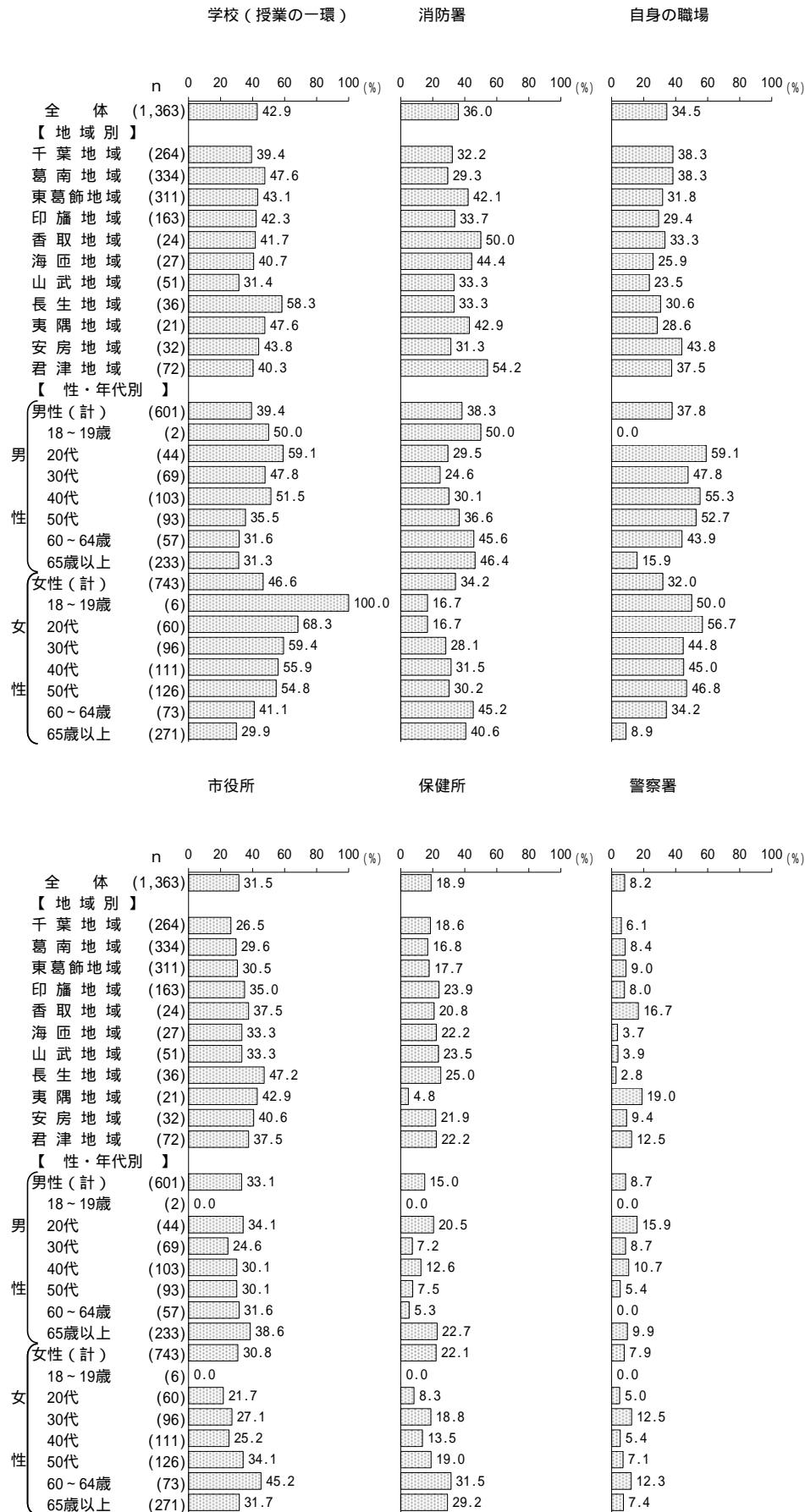
性・年代別にみると、「学校（授業の一環）」は、男性の 20 代（59.1%）で約 6 割、女性の 20 代（68.3%）で約 7 割、女性の 30 代（59.4%）で約 6 割、女性の 40 代（55.9%）で 5 割台半ば、女性の 50 代（54.8%）で 5 割台半ばと高くなっている。

「自身の職場」は、男女共に、20 代～50 代で高くなっている。

「市役所」は、男性の 65 歳以上（38.6%）で約 4 割、女性の 60～64 歳（45.2%）で 4 割台半ばと高くなっている。

「保健所」は、男性の 20 代（20.5%）で 2 割、女性の 60～64 歳（31.5%）で 3 割を超え、女性の 65 歳以上（29.2%）で約 3 割と高くなっている。（図表 7 - 12）

< 図表 7 - 12 > 応急手当の講習を希望する場所（複数回答） / 地域別、性・年代別



このほかに、「心肺蘇生法及びAED（自動体外式除細動器）について」やここまでの質問（問27～問32）について、ご意見やご提案があればご自由にお書きください。

ご意見やご提案を自由に記述していただいたところ、131人から回答が寄せられた。一部抜粋してご意見を記載するものとする。

「心肺蘇生法及びAED（自動体外式除細動器）について」の自由回答（抜粋）

親子で講習を受講できる機会があれば良いと思う。（女性、30代、印旛地域）

実際に使用したことはありませんが、使い方を教えて頂いた事があります。学校で使用法を指導すれば、もっと助かる人が増えると思う。（女性、30代、君津地域）

何度か講習を受けることが必要なので、機会がなるべく多くあると良い。

（男性、40代、東葛飾地域）

AEDの使用方法を消防署の方が実演してくれましたが、その場では理解できましたが、実際にはできないと思います。何回もやってみないとできません。

（女性、65歳以上、印旛地域）

講習を受けないことには、身近なものとして認識できない。私が受けた時の講師（消防士）から伝わった命を守る、守れるかもしれないということが強く印象に残っている。

（男性、40代、香取地域）

AEDの設置場所が増えているように感じます。これからも増やしてほしいと思います。

（女性、30代、葛南地域）

AED設置してあります、というステッカーは見かけるが、どこにあるのか分からないので意味をなさないと思う。いついかなる時も、早急に利用できるよう、誰でもすぐに認知可能な場所に設置してあるのが望ましい。（女性、30代、葛南地域）

AEDを設置している場所は夜間施錠されている所が多いと思うので、夜間でもすぐに使える場所での保管をしてもらえるとよいと思います。（男性、40代、君津地域）

コンビニに設置されているのか不明ですが、設置されていないなら、設置の義務付けを。

（男性、50代、東葛飾地域）